

令和5・6年度複合構造委員会 第8回幹事会 議事録(案)

日 時：2024（令和6）年8月5日（月）14:00～17:00

場 所：土木学会A会議室 Web併用（Zoom）

出席者：牧委員長，大山副委員長，皆田幹事長，大久保幹事，川端幹事，北根幹事，齋藤幹事，櫻庭幹事，塩畑幹事，平幹事，内藤幹事，中村幹事，仁平幹事，橋本幹事，藤林幹事，山本幹事，岡崎事務局（取消線は欠席）

配布資料：

- 幹8-0 令和5・6年度複合構造委員会第8回幹事会議事次第
- 幹8-1 令和5・6年度複合構造委員会第7回幹事会議事録（案）
- 幹8-2 令和5・6年度複合構造委員会臨時幹事会議事録（案）
- 幹8-3 令和5・6年度複合構造委員会第3回委員会議事録（案）
- 幹8-4-1 令和5・6年度複合構造委員会幹事会業務分担
- 幹8-4-2 令和5・6年度 複合構造委員会 委員構成（委員名簿）
- 幹8-5-1 令和6年度委員会予算（案）
- 幹8-5-2 令和6年度委員会予算執行状況
- 幹8-5-3 調査研究拡充支援金の配分について
- 幹8-6 H111 カーボンニュートラルに向けた複合構造のあり方に関する研究小委員会
- 幹8-7 令和6年度全国大会・研究討論会
- 幹8-8 令和6年度全国大会・共通セッション
- 幹8-9 第10回FRP複合構造・橋梁に関するシンポジウム
- ~~幹8-10 土木学会論文集特集号（複合構造）~~
- 幹8-11 複合構造の継続教育
- 幹8-12 300年暴露PJ報告
- 幹8-13 出版関連報告
- 幹8-14 ホームページ関連報告
- 幹8-15 2025年度重点研究課題募集案内
- 幹8-16 「土木学会略史（2014-2024）（仮称）」原稿執筆について
- 幹8-17 H101 複合構造標準示方書小委員会
- 幹8-18 H109 複合構造技術の発展に関する調査小委員会
- ~~幹8-19 H220 グリーングレーハイブリッドインフラの評価に関する研究小委員会~~
- ~~幹8-20 H221 樹脂・FRP材料による複合技術研究小委員会~~
- 幹8-21 H222 複合構造におけるプレハブ・プレキャスト工法の活用に向けた研究小委員会
- ~~幹8-22 H223 弾性合成桁の設計に関する調査研究小委員会~~
- 幹8-23 親委員会（第4回）での報告・発表について
- 幹8-24-1 令和7年度文部科学大臣表彰の推薦について
- 幹8-24-2 2025年度鹿島学術振興財団助成・援助プログラム募集について
- 幹8-24-3 Greeting from Hongwei and Mini-symposium in APFIS 2024
- 幹8-24-4 第12回科学技術予測調査（デルファイ調査）アンケートについて

幹8-24-5 土木学会環境賞候補の推薦について

幹8-24-6 第10回アジア土木技術国際会議（CEGAR10）への参加・論文アブストラクト提出に関するご協力をお願い

議事内容：

1. 委員長挨拶

牧委員長より、開会の挨拶がなされた。

2. 複合構造委員会第7回幹事会議事録（案）確認（幹8-1）

平幹事より説明があり、以下を修正することで承認された。

- ・4. について、「20周年記念計画」→「20周年記念行事計画」
- ・7. について、「中村先生」→「中村幹事」
- ・8. について、「今川先生」→「今川委員」
- ・13. について、「高橋(良)先生」→「高橋(良)委員」

3. 複合構造委員会臨時幹事会議事録（案）確認（幹8-2）

皆田幹事長より説明があり、修正なく承認された。

4. 複合構造委員会第3回委員会議事録（案）確認（幹8-3）

北根幹事より説明があり、以下を修正することが確認された。

- ・11. について、「説明がなされた」→「説明がなされた。」（ピリオドをつける）

5. 令和5・6年度複合構造委員会幹事会業務分担と名簿（幹8-4-1～幹8-4-2）

皆田幹事長より、以下の修正（赤字の箇所）があったことが説明された。

- ・社名変更（ピーエス・コンストラクション(株) 鈴木委員)
- ・委員交代（阪神高速道路株式会社 新名委員)

6. 令和6年度委員会予算（案）と予算執行状況（幹8-5-1～幹8-5-3）

皆田幹事長より、令和6年度委員会予算（案）と予算執行状況について、説明された。

- ・7/16に土木学会事務局から拡充支援金決定（9.4万円）の連絡が届き、令和6年度委員会予算総額（71万円）が確定した。
- ・前回の複合構造委員会で設置が認められたH111, H223への予算配分、選挙管理委員会（H003）への郵送代（2万円）の予算配分を行うこととなり、この配分案で複合構造委員会委員へメール審議することとなった。
- ・H109で、現場視察で計上したマイクロバス代等は、予備費からの支出とする。
- ・複合構造委員会委員への報告書の配布等は、出版事業費として、出版計画時に計上しておくこと、経費削減になることのことであった。今後、出版計画を審議する際に、幹事会で確認することになった。

7. カーボンニュートラルに向けた複合構造のあり方に関する研究小委員会（H111）について（幹8-6）

中村幹事（小委員会幹事長）より、カーボンニュートラルに向けた複合構造のあり方に関する研究小委員会について、説明された。

- ・委員構成案について、説明があり、幹事会として承認された。
- ・現時点での構成員で、複合構造委員会委員へメール審議をかけることとなった。
- ・幅広い参加を期待したため、複合構造委員会委員へメール審議の際に、追加で参加希望者を募ることとなった。
- ・小委員会の設置期間は2年間で予定している。他の構造系委員会との連携もほぼ同じ活動期間であること、それ以降では、2種委員会での継続検討や土木学会全体での取り組みへの移行が期待されることによる。

8. 令和6年度全国大会・研究討論会（幹8-7）

塩畑幹事（小委員会幹事長）より、令和6年度全国大会・研究討論会について、説明された。

- ・事前収録した映像が9月2日（月）10：00～12：00に配信される。
- ・委員以外のパネリストは、阿部淳一氏（HRC研究所）より了解が得られた。富士通（株）へ打診したが、夏季休暇中で調整がつかないため、辞退された。
- ・パネリストにプレゼン資料を作成いただき、小委員会メンバにプレゼン資料を配布し、事前に質問等の受付、回収を行った。現在、パネリストに回答案を作成いただいているところである。
- ・事前収録用のURLは、学会事務局から配布される予定である。遅れる場合、牧委員長よりZoomのURLを取得していただくこととなった。
- ・事前収録は、8月9日（金）10：00～16：00の予定（午前：リハーサル、午後：本番収録）である。
- ・現時点での参加者は、皆田幹事長、齋藤幹事である。Zoomによるオンライン参加も可能とし、幹事会に事前収録への参加を呼びかけることとなった。
- ・討論会の「背景画像」は、過去の研究討論会のものを修正して使用することになり、大山副委員長より牧委員長へ背景画像を送付することとなった。
- ・事前収録の会場（株式会社大林組本社、14階、A-5会議室（品川インターシティB棟））へは、当日午前9時から入館できるように手続きすることとなった。

9. 令和6年度全国大会・共通セッション（幹8-8）

川端幹事より、令和6年度全国大会・共通セッションについて、説明された。

- ・共通セッション・複合構造物への積極的な参加の依頼があった。

10. 第10回FRP複合構造・橋梁に関するシンポジウム（幹8-9）

大山副委員長（小委員会委員長）より、第10回FRP複合構造・橋梁に関するシンポジウムについて、説明された。

- ・8/23に、投稿締切で、原稿が届きしだい、編集作業を行う予定である。
- ・10/29に、Zoomアクセスのリハーサルを行う予定である。
- ・特別講演は、東レ・カーボンマジックの担当者へ打診中とのことであった。

11. 土木学会論文集特集号（複合構造）（資料なし）

皆田幹事長より、以下について、報告された。

- ・特集号編集小委員会を9月中旬から10月上旬で調整中とのことであった。
- ・原稿書式への行番号の追加については、シンポ小委（推薦WG）の承認を経た上で、今回から運用する予定とのことであった。

12. 複合構造の継続教育（幹8-11）

中村幹事（小委員会委員長）より、複合構造の継続教育について、説明された。

- ・今年度のセミナーWG（11/29開催）、eラーニングWG（資料作成の検討）の活動について、報告があった。
- ・講習会に用いる、計算事例やFEM解析事例については、10～11月頃に事例の募集を呼び掛けて（必要に応じて追加の協力依頼を行う）、第4回親委員会で状況を報告する予定とのことであった。
- ・来年度は、セミナーWGで、現場見学会（合成桁等の架設現場、関東近辺、5～6月）を企画したいとのことであった。場所、時期、予算（バス代等は参加者から徴収するなど）の詳細については、今後検討する。
- ・H111小委員会では、2025年度にPD等の開催を計画している。セミナーWGで運営等に協力する。

13. 300年暴露PJ報告（幹8-12）

皆田幹事長より、300年暴露PJ報告について、報告された。

- ・300年暴露（2年経過観察）の見学会を、大阪工業大学八幡工学実験場で、12月12日（木）11:00より開催することとなり、300年暴露PJ委員に、周知することとなった。
- ・当日は、第11回幹事会も大工大（同じ場所）で14:00から開催する予定である。

14. 出版関係報告（幹8-13）

平幹事より、出版関係について、報告された。

- ・原価回収部数に達していない書籍については、引き続き販売促進をお願いしたいとのことであった。
- ・教科書「基礎からわかる複合構造」は、200部増刷したため、記載方法は「600+200」となると考えられるため、確認して修正することとなった。

15. ホームページ関連報告（幹8-14）

山本幹事より、ホームページ関連について、報告された。

- ・細かい修正依頼があり、修正対応した箇所について、報告があった。
- ・絶版図書のリンク先の削除は、複合構造レポート17も絶版となるため、今後削除する。
- ・複合構造委員会の現状が反映され、修正はほぼ完了した段階であるが、細かい点は、今後修正する。
- ・新設委員会（H111, H223）は、委員の決定後、追加する。

16. 2025年度重点研究課題募集案内（幹8-15）

皆田幹事長より、2025年度重点研究課題募集について、案内された。

- ・7/18付けで案内が届いた。提出期限は12/20と決まっているため、企画WGへ検討の依頼があった。
- ・川端幹事より、CN関連のテーマで、構造工学委員会と合同で、応募を検討中との情報提供があった。構造工学委員会では、8/20の週に打合わせの予定があるため、今後、調整することとなった。

17. 「土木学会略史（2014-2024）（仮称）」原稿執筆について（幹8-16）

皆田幹事長より、土木学会略史の作成の依頼について、説明された。

- ・複合構造委員会として、引き受けることを確認した。
- ・100周年記念事業で編纂された略史の書式があるため、確認の上、幹事長で原案を作成することとなった。展望は、委員長が作成することとなった。
- ・幹事会で原案を作成し、適宜、複合構造委員会に確認することを検討する。

18. 小委員会報告審議事項

(1) H101 複合構造標準示方書小委員会（幹8-17）

牧委員長より、複合構造標準示方書小委員会について、説明された。

- ・完成の目標は、年度内の予定で、発刊は、来年度の可能性があるとのことであった。
- ・意見照会を複合構造委員会、外部委員会等へ同時に行うため、協力をいただきたいとのことであった。

(2) H109 複合構造技術の発展に関する調査小委員会（幹8-18, 幹8-18_02~04）

牧委員長（小委員会委員長）より、複合構造技術の発展に関する調査小委員会について、説明された。

- ・前回は現場視察を6/26に実施したこと、今回は9/17に開催予定であることが報告された。
- ・今年度目途に報告書の作成を進め、来年度秋に報告書（レポート）を作成する予定とのことであった。
- ・次回の幹事会で、出版企画案を議論する。複合構造委員会委員へは、報告書を贈呈する方向で検討する。
- ・報告書目次案、出版企画案は、原案であるため、小委員会開催（9/17）前に、9/4の幹事会で審議する予定のため、小委員会の幹事団で確認する予定とのことであった。
- ・#100小委員会は、講習会の開催は必須ではないが、前身の「複合構造シリーズ02」の出版時には、講習会を開催したことを踏まえ、実施する方向で検討する。

(3) H220 グリーングレーハイブリッドインフラの評価に関する研究小委員会（資料なし）

川端幹事より、グリーングレーハイブリッドインフラの評価に関する研究小委員会について、報告された。

- ・来年度の報告書の出版にあたり、出版企画案を次回の幹事会で審議することとなった。

(4) H221 樹脂・FRP材料による複合技術研究小委員会（資料なし）

橋本幹事（小委員会連絡幹事）より、樹脂・FRP材料による複合技術研究小委員会について、報告された。

- ・目次案を検討している段階で、出版企画案を次回幹事会で審議することとなった。
- ・出版企画書の提出の流れを確認した。小委員会等より提出された、出版企画書を幹事会で審議し、出版担当（平幹事）より、出版事業課へ提出する（提出期限：9月末）。

(5) H222 複合構造におけるプレハブ・プレキャスト工法の活用に向けた研究小委員会（幹8-21）

内藤幹事（小委員会委員長）より、複合構造におけるプレハブ・プレキャスト工法の活用に向けた研究小委員会について、報告された。

- ・7/10に、アクアラインの見学を行った。次回の小委員会は、9/19に開催する予定とのことであった。
- ・今後、プレファブ・プレキャストを模した試験体の実験・解析を行う方向で、検討を進めたいとのことであった。

(6) H223 弾性合成桁の設計に関する調査研究小委員会（幹8-22）

皆田幹事長より、弾性合成桁の設計に関する調査研究小委員会について、報告された。

- ・9月号の学会誌で委員公募をかけ、11月に小委員会を開催するスケジュールで進められるとのことであった。
- ・委員が確定しだい、連絡幹事等を決定する。

19. その他

皆田幹事長より、以下について、説明された。

(1) 親委員会（第4回）での報告・発表について（幹8-23）

- ・ 次回の親委員会では、話題提供などを相談しながら進めることとなった。
- ・ 過去には、シンポジウム優講演者による講演の事例もあるが、複合構造委員会委員の中で、官公庁（例えば、首都高速道路、阪神高速道路など）の委員に、講演を依頼することも検討する。

(2) 下記について（幹8-24-1～幹8-24-6）

- ・ 例年通りの案内のため、確認の上、それぞれ対応をいただきたいとの依頼があった。
 - － 令和7年度文部科学大臣表彰の推薦について（幹8-24-1）
 - － 2025年度鹿島学術振興財団助成・援助プログラム募集について（幹8-24-2）
 - － Greeting from Hongwei and Mini-symposium in APFIS 2024（幹8-24-3）
 - － 第12回科学技術予測調査（デルファイ調査）アンケートについて（幹8-24-4）
 - － 土木学会環境賞候補の推薦について（幹8-24-5）
 - － 第10回アジア土木技術国際会議（CECAR10）への参加・論文アブストラクト提出に関するご協力をお願い（幹8-24-6）
- ・ 牧委員長より、日中シンポは、再び延期となり、開催の目途はたっていないとの情報提供があった。

20. 次回幹事会

皆田幹事長より、次回幹事会について、説明された。

- ・ 次回幹事会は、9月4日（水）14:00より、鹿島建設東北支店601会議室にて、開催予定である。
- ・ 平幹事より、当日、会議室へは集合して来ていただきたいとの要望があったため、13:45に1階に集合することとなった。遅れる場合、時間を事前に伝え、当日、平幹事に対応いただくこととなった。

21. 閉会挨拶

大山副委員長より、閉会の挨拶がなされた。

以上
(記録：中村)